

# Rmenuとは

Rmenuとはどんなものなのか  
どうやって作るのかを簡単に説明します

# Rmenuとは

ソフトウェアフレームワークの一つとしエンジン基礎となる使用言語をRubyで作成されたものであり、日本製のプログラミング言語Rubyを使用したぶん日本初の日本製フレームワークがRmenuである。

Webベースの業務アプリケーション開発エンジン「Rmenu」では、Web系開発時に懸念される点が改善されており、Rmenuは業務用Webアプリケーションをノンプログラミングで自社開発することを目指した無料のフレームワークです。

MVCアーキテクチャを取り入れ、並列分散バッチ処理、帳票作成処理も兼ね備えており、開発費用の削減ができるフレームワークです。

メインフレームを意識した、フレームワークのため、サーバーの規模によりますが、世界中からの同時アクセスにも耐えうる設計となっています。

他に類を見ない、下記の機能をかねそなえています。

新規プロジェクトはもちろんのこと、プロジェクトごとの業務追加に際しても、サブシステムの追加構築が容易に行えるよう、一つのインスタンスで複数プロジェクトに対応可能です。

プロジェクトごとのデータベース割り当てはもちろん、一つのプロジェクトで複数のデータベースアクセスも可能です。

ジョブ管理画面による並列分散バッチの進捗状況の管理が可能です。

ジョブ管理画面のリスタート機能により、異常終了した分割ジョブの再起動が可能です。

Rubyで悩む帳票作成工数の軽減・解消のために、同じプログラムで、オンライン帳票・バッチ帳票の二種類に対応が可能です。

バッチ帳票は、帳票管理画面(スプーラ機能)から出力・再出力・削除等がコントロール可能です。

Ajaxによる実装で、画面再描画を最小に抑えレスポンスが早いのも特徴

日本語によるプログラム開発が可能のため、生産性、保守性、システムの引継ぎ等が飛躍的に向上します。

『国際規格ISO/IEC 30170承認された、日本製のプログラミング言語Rubyを日本製フレームワークRmenuを使って開発できる』まさに、Rmenuは日本向け業務用Webアプリケーション開発の基本となりえるでしょう。

プロトタイプ利用2012年より実装  
開発発明者: 下地 忠史

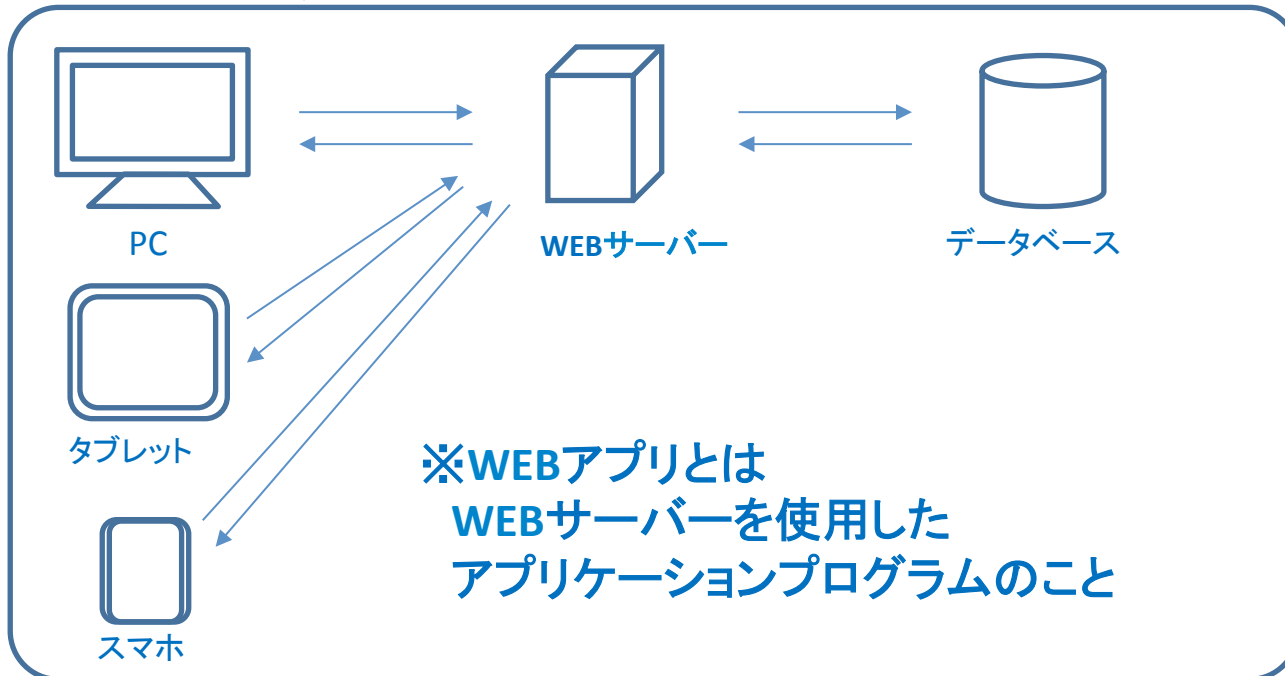
# Webアプリとは



インターネット

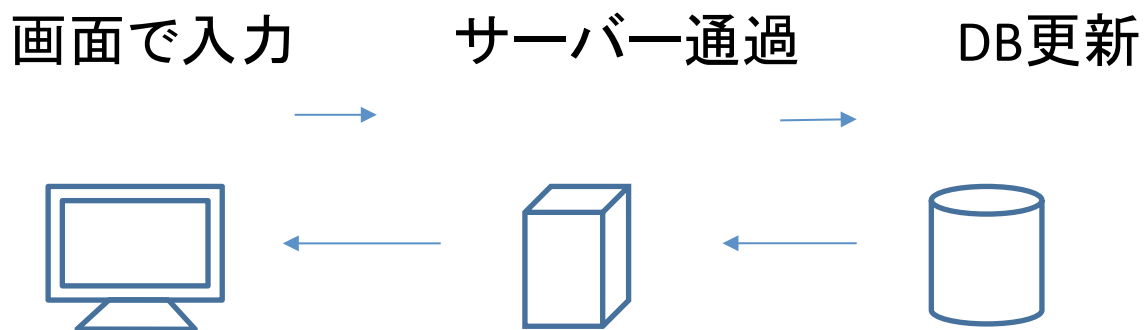


インターネット環境にある様々なデバイスで  
会社の業務システムを使用することができます



# Rmenuとは日本語フレームワーク

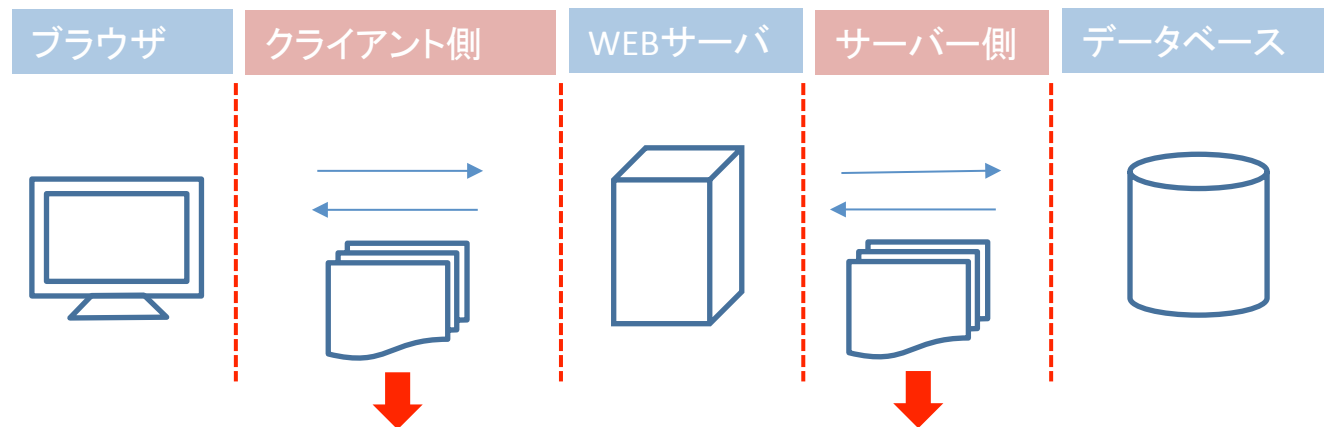
Rmenuがよりデータはこのように流れ方ています。  
これらのデータを処理していくガイドを作成できます。



以下に、Rmenu構造を紹介します。

# クライアント側・サーバー側とは

Rmenuのプログラムはwebサーバーを挟んで2つに分れます  
左側がクライアント側、右側がサーバー側です

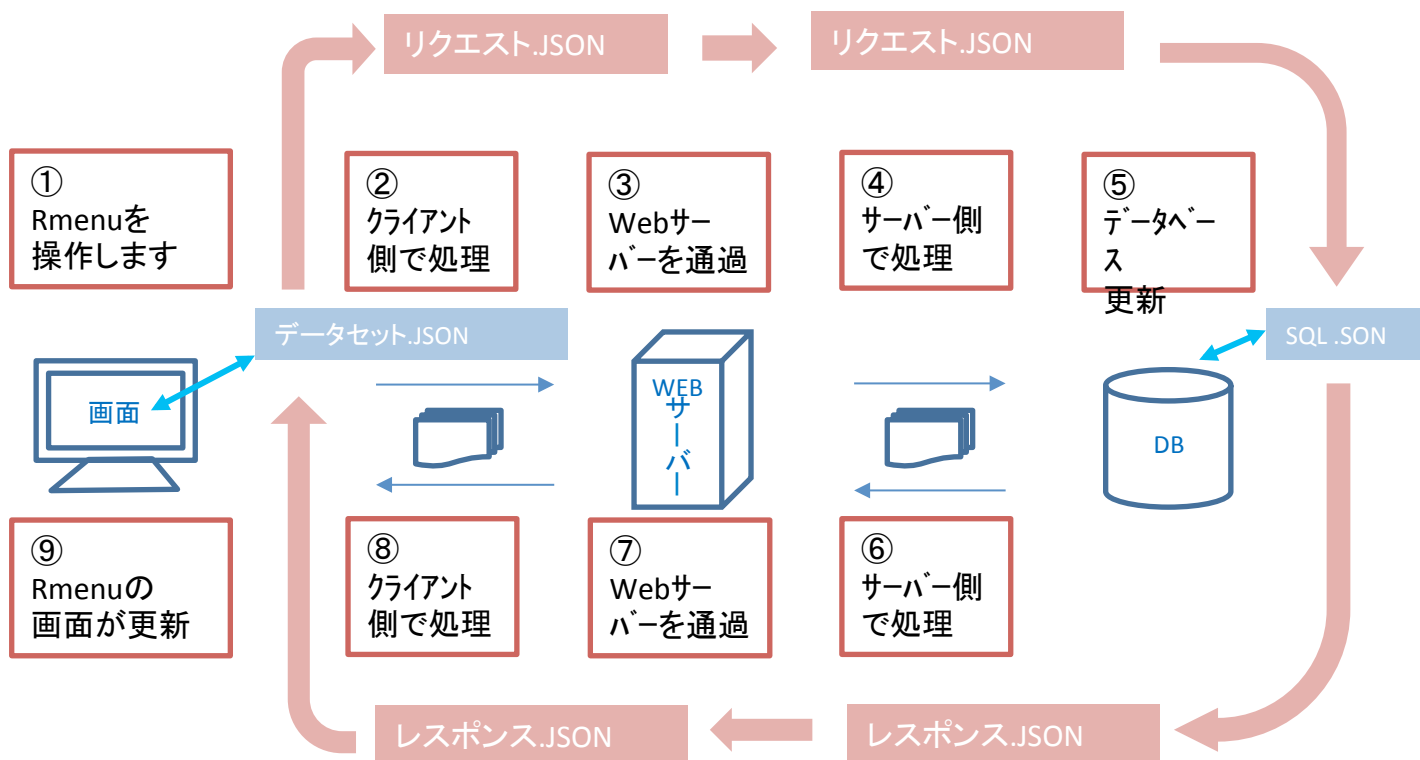


クライアント側のプログラム	サーバー側のプログラム
Html	dataset.json
CSS	validation.json
Appspec	tran.json
main.js	sql.json
controller.js	controller.rb
model.js	model.rb
view.js	view.rb

# JSONとは（主なJSONの流れ）

①～⑨の順にプログラムが動きデータを処理して画面が更新されます

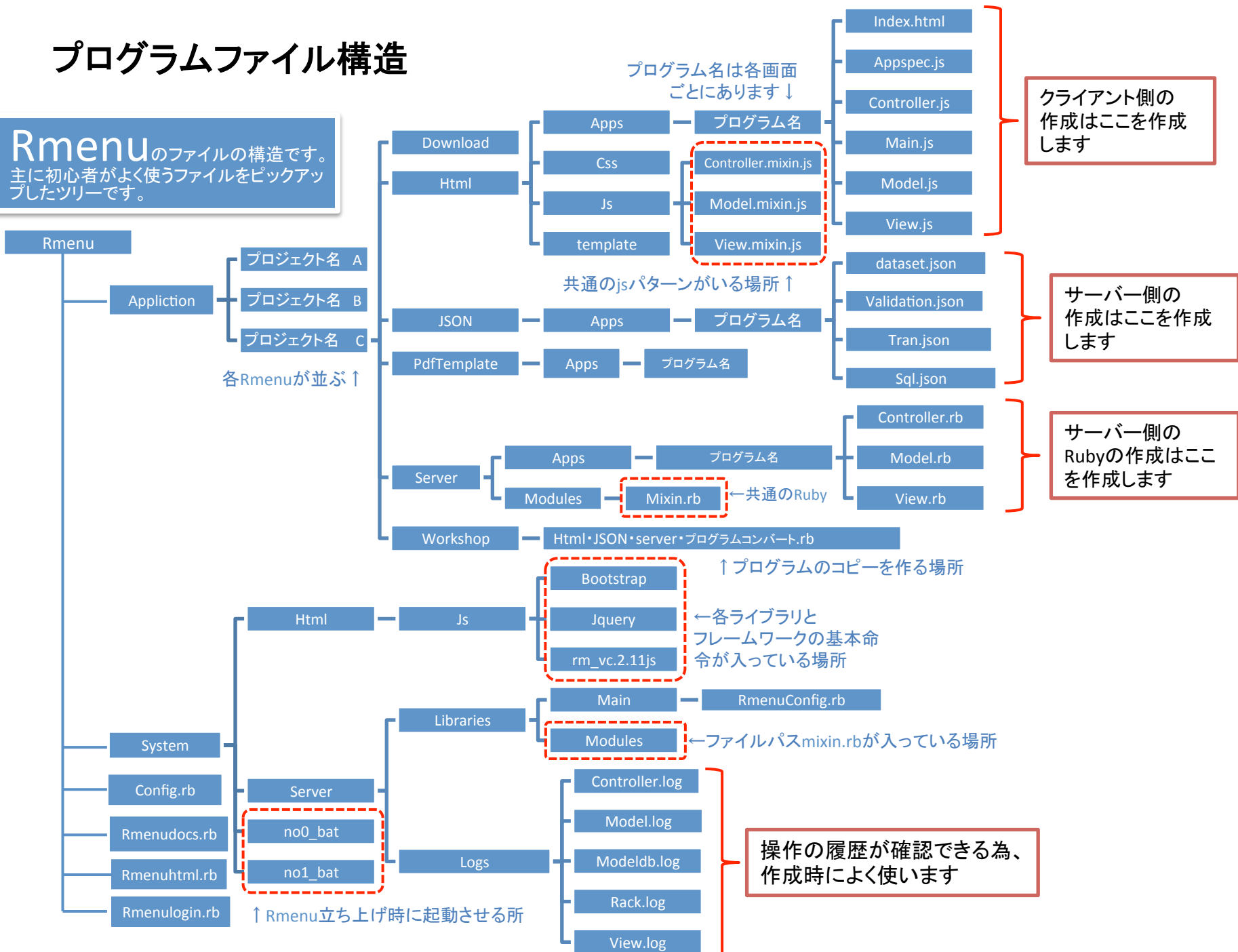
各処理はJSONでデータを流しています ※白文字が主なJSONの流れです



※データセットJSONは項目を定義している  
(データを移送する時の入れ物・Htmlはこのデータをもとに表示する)  
※リクエストJSON・レスポンスJSONはtran.jsonの中に書かれています

# プログラムファイル構造

Rmenuのファイルの構造です。  
主に初心者がよく使うファイルをピックアップしたツリーです。



クライアント側の作成はここを作成します

サーバー側の作成はここを作成します

サーバー側のRubyの作成はここを作成します

プログラム名は各画面ごとにあります↓

共通のjsパターンがある場所↑

共通のRuby

↑プログラムのコピーを作る場所

←各ライブラリとフレームワークの基本命令が入っている場所

←ファイルパスmixin.rbが入っている場所

↑ Rmenu立ち上げ時に起動させる所

操作の履歴が確認できる為、作成時によく使います

Rmenuを使ってみましょう。

Rmenuとはどんなものなのか  
どうやって作るのかをサイトに沿って学習して  
みましょう。